単元（題材）の指導と評価の計画

受講者番号 23(　　)　(　　)G(　　)名前(　　)

教科等の名称	学習指導要領に記載されている各教科領域を記入	部門・学部・学年	視覚／聴覚／知的／肢体／病弱 小学部／中学部／高等部
単元（題材）名	年間計画の中で、この学習でどのような力をつけさせたいのかという視点に立って学習活動を記述。例えば、体育での運動が苦手な児童・生徒に対して、運動機能の向上を目指したサーキットトレーニング、図工での紙粘土遊び…等		
子どもの実態 グループの実態	子どもの実態、学年、性別、本単元にかかわる日常生活や学習面の様子、単元とのかかわり、題材への関心、意欲、技能・態度・習慣等の諸能力、関連する諸経験、現在の課題…等		
単元（題材）の目標	（知識及び技能） （思考力・判断力・表現力等） （学びに向かう力・人間性等）		
単元（題材）の評価規準	（知識・技能） ・～している （思考・判断・表現） ・～している （主体的に学習に取り組む態度） ・～しようとしている、～している		
単元（題材）の指導計画	時数	主な学習内容・学習活動	
本時の目標			

本時の学習内容・学習活動	指導方法・手立て等	本時の評価規準
今日の授業で取り扱う内容 ○導入 ・授業の見通しを持たせ、意識付けを行う ・子どもの興味・関心を引き付ける ○展開 ・一人ひとりの目標に沿った活動を設定 ・充実感や達成感を味わえる場面を設定 ○まとめ ・授業を振り返り、成果を確認できる場面を設定	※左記学習内容に対して、子ども一人ひとりに各展開でどのように支援するか	○各学習展開で目標がどの程度達成できたか ・例えば、自分でマット上を前転することができたか…等

○学習指導要領の各教科等の「目標」「内容」に基づき、「身に付けたい力」を子どもの実態に合わせて考える
○子どもの目標達成について評価できるよう、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱に沿って、具体的な行動目標として示す

この単元(題材)全体の指導の流れが分かるように書く